

## 協働評価シート

事業名		ママ応援HAPPYプロジェクト		実施年度	平成28年度
部 局		市民部	課 所	男女共同参画課	
団体等の名称		ハンドメイドサークル ソライロ			
評価項目				評価者	評価
相互理解	それぞれの特性や立場を理解し合えたか	お互いの特性や立場を十分に認識、尊重して、事業を実施することができたかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
対等	双方が対等の立場に立っていたか	対等な立場で協議、事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
自主	市民の自主的な活動が尊重されたか	自主的活動を十分に活かして事業効果を増加させたかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
自立	市民の自立化を阻害しなかったか	依存体質が助長されるなど、市民の自立化が阻害されることがなかったかどうかを評価。(新たな自発的事業展開につながり自立化が進んだ場合はA評価)	団体等	A	
			市	A	
目的共有	双方が協働事業の目的を共有できたか	協働事業の目的は十分に共有して事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
情報共有	双方がお互いの情報を共有できたか	情報を十分に共有しながら事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
公開	双方の関係を十分に公開できたか	全て公開され、利便性も高いかどうかを評価。	団体等	A	
			市	B	
「相乗効果」が発揮され、独自で行うよりも効果的と認められるか		「相乗効果」が十分に発揮され、協働が効果的と認められるかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたか		十分に市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	

事業の目的、目標が達成されたか、どのような成果があったか、具体的な改善点等があれば記載（自由記述）

<p>団体等</p>	<p>事業の目的は子育て世代の母親が社会との関わりを考え、子育てしながら働きたいと考えたり、実現しようと模索することへの後押しである。</p> <p>講座では、ご自身も子育て中の方を講師に、ご本人の経験も踏まえ分かりやすくお話ししてくれた。</p> <p>にはま・つながる・フェスタ2016では悪天候のなか約1,000人が来場。このような大きなイベント運営は初めてだったが、市民目線でそして女性の視点で運営できたと思う。アパレルメーカーさんの協力で、今すぐ使える面接時の服装なども提案することができた。</p> <p>今後は、地域とつながりを持ちやすい会場に変更し、より多くの方に参加していただいて、女性の「ハタラク」をもっと応援したい。</p> <p>協働事業が初めてで分からないことも多くあったが、男女共同参画課とも連携がとれ、広報や交渉、会場準備等もしやすく大変助かった。</p>
<p>市</p>	<p>市単独では物販や数多くのワークショップ開催は人的にも不可能であり、協働のよさが発揮されたと思う。</p> <p>参加された方の様子や反応を見ていて今回のようなイベントは街の魅力アップにもつながると感じた。</p> <p>今回を契機に、次年度に向けて女性がハタラクことや魅力的な街づくりに特化した団体として再スタートし、新たな取り組みを始めようとするなど大きな成果があったといえる。</p> <p>今後は自主財源の確保やメンバーの増員などにも力を入れて、より多くの女性を巻き込んでさらなるつながりを増やしてほしい。</p>
<p>相互協議 結果</p>	<p>つながるフェスタ2016の来場者アンケートでは、ターゲット層である30代女性を中心に市内外から参加があり、飲食ブース、個人ブースを中心に満足度が高かった。</p> <p>また、前期、後期各2回ずつのママまなび会の参加者アンケートでは、「友達に誘われて参加したが、自分が認識できていなかったことがわかり、再就職に向けて役に立った」「託児付で助かった」「仕事のことはぼんやりと考えてはいたが、育児をしながら働くイメージがクリアになり、参加してよかった」など、楽しく学べたことが喜ばれた。</p> <p>担当課としてもこういった女性に向けた事業は必要であるということで29年度も継続して行うこととなった。もっと多くの方に参加していただけるよう、28年度の反省をふまえて、今後もいい協働関係のもと、魅力ある講座、イベントとなるよう取り組んでいきたい。</p>

